

JEG ニュースレター 172号

www.jegschweiz.com

2019年9月13日発行

小さな証

日本で生まれ育った典型的なサードカルチャーの若者が、スイスとルーマニアで体験したこと。P2

高橋稔牧師が召天

癌で闘病中であった高橋稔牧師（元パリ教会）が、8月16日早朝イエス様の御許に帰られました。p3

第36回集いが開催

ルーマニアの学術文化都市クルージュ・ナボカで今年のヨーロッパキリスト者の集いが開催されました。P3

集いの証/感想文集

集いなければ足を踏み入れることはなかった国ルーマニアでの大きな感動と主の臨在を体験した証が綴られました。添付



小さな祈り

私たちの主よ。あなたの、恐るべき聖なる御顔とご威光の輝きの故に、すべての口々があなたこそ主おひとりであることを告白する日がきますように。

"兄弟たち。あなたがたは自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕え合いなさい。"

ガラテヤ人への手紙 5章13節

東欧解放30年

45年間続いた共産主義政権の圧政下、キリスト者への迫害の嵐が吹いたルーマニアが、市民革命によって解放されてから今年で30年。第36回ヨーロッパキリスト者の集いが開催され、主を賛美しました。神様の奇跡を身をもって体験した4日間！

ルーマニア・トランシルバニア州首都
クルージュ・ナボカ CLUJ-NAPOCA

ちいさな証

福音を伝えよう！

アレックス・グレゴリー

スイス日本語福音キリスト教会



初めまして、アレックスです。9月に19歳になりました！僕は日本で生まれ（浜松市出身だに！方言）14歳まで静岡県で育ち、その後、家族とともにオーストラリアに移住した、体のなかに日本人、スイス人、オーストラリア人の血が流れるサードカルチャー人です。去年の八月にオーストラリア、メルボルンでイエス様を信じて救われたものです。今年、ドイツ語の勉強と母親が育った国を知るためにスイスに来ており、日本人のお婆ちゃんの家に住まわせてもらいながら、スイス日本語福音キリスト教会でお世話になっています。

2019年の夏休み、七月下旬にヨーロッパ人旅の期間中、ルーマニアで開催された”第36回ヨーロッパ・キリスト者の集い”に参加しました。この貴重な4日間の参加を可能してくれたのは、スイス日本語福音キリスト教会との関わりがあったからです。

クロアチアのマカルスカからバスで23時間かけてクルージュ・ナポカに着いたのは夜の10時頃でした。会場に着いて、Teens&Youth用プログラムを眺めながら、最初のアイスブレイクの代わりに、僕自身心身のブレイクを実感していました。夕食の時間を逃してしまった悔しさはともかく、この大会で自分の印象に残ったことを二点述べたいと思います。

一つ目は何と言っても”the turning 福音を伝えよう”で、この体験は決して忘れることができないものです。「The Turning 福音を伝えよう」というのはTeens & Youthプログラム2日目の特別企画です。集まったユースの中から、2、3人ずつのグループに分かれ、ホテルと川を隔てて横たわるクルージュ市の広大なセントラルパークにでかけて、迷惑になるかも知れない内容を公園でくつろぐ現地の人々に話しかけます。これも威圧感の無いよう、自己紹介に始まり、相手への質問へとつなげますが、最終的には、イエス様の偉大さを知ってもらおうのが狙いでした。

僕のグループは、川井佳代子先生、トムセン・ヨハナさんと僕でした。トップバッター、ヨハナさんは始めに相手に首をかしげさせるような質問を出し、相手の個性に合わせた個人的で

軽妙な話しぶりで、私にとっては最高なお手本となりました。一方、僕はかなり無骨で不慣れでありましたが、苦しみのなかで、イエス様を受け入れたあとの人生の喜びと解放感の話しをしました。これは確かに先方のハートに伝わる話ができたと感じます。その後、川井佳代子先生が向かったのは、7人程の青年のグループでした。このグループの中には、クリスチャンも数人いるようでしたが、はじめは、何人かの信仰を見下すような発言もあったのです。

特に印象的であったのは、ルーマニアで長年にわたって宣教されてこられた川井佳代子先生の伝道に対する真剣な姿勢でした。初めのうち、明らかに川井佳代子先生の発言に同意していなかった”彼”の様子が、対話が深まっていく中で、彼の表情に変化が見られました。彼の両眼は、対話が深まる時間の経過につれて、大きく見開かれ、川井先生の方に完全ロックイン状態となりました。そして、ただ一人、地元の教会への推薦用紙に

名を残したのが彼だったのです。そんな彼の救いを求める行為には、しばらく前の自分自身が救われる一歩手前の姿を見た思いでした。それは、今後の彼への主の働きかけを注目しないではおられない特別な午後でした。

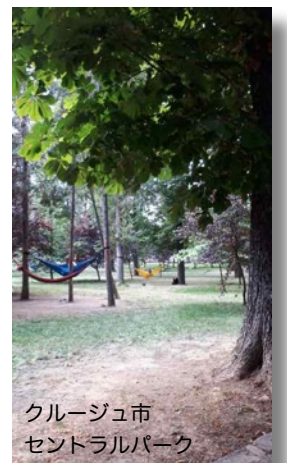
二つ目はヨーロッパ・キリスト者の集いの規模です。初めて大会の参加者全員を目にしたときは、正直言って食事の量が足りるかどうかと心配でした。Teens & Youthだけでも30人以上という人数で、キリスト教への信念、世代の違い、そして、根底に日本と欧州への関わりを共通にする仲間達、先輩たちと交流でき



クルージュ・日本文化作品展で日本の衣装を披露するヨーロッパ・キリスト者の集いは、私が

生まれて初めて経験する最高な舞台でした。こんなに沢山の皆さんが、様々な理由で、主のもとに、主の計画に従って集まってこられたことを考えると、僕はイエス様の偉大さに今更ながら感動を禁じ得ませんでした。

心から安心して、一緒に心を合わせて、主に礼拝の時間をささげられる場を一生懸命に準備し、実行してくださったスタッフの方々と、本大会の近くで、一人一人をあったかく見守ってくださっていたイエス様に心から感謝します。



クルージュ市
セントラルパーク

1、安藤廣之牧師による説教

マイヤー牧師の休暇を受けて、8月25日(日)は、ゲストメッセージに、6年半ぶりに安藤廣之牧師をミュンヘン日本語キリスト教会からお迎えして礼拝を守りました。安藤牧師は、ミュンヘンからバスで往復10時間をかけて日帰りでお越しくださいました。その宣教にける情熱に感銘を受けました。感謝!



安藤牧師の感動的なメッセージ”神の作品～恵みによる救い～ Gottes Werk～ Rettung durch Gnade をテーマにエペソ Epheser 2:1～10から”は<https://www.youtube.com/watch?v=5dUJUQkNu5o>でご覧いただけます。また、ドイツ語への翻訳(トムセン・チャーリー兄翻訳)は、スイスJEGのHPのHomeからダウンロードしてお読みいただけます。[スイス日本語福音キリスト教会 - スイス日本語福音キリスト教会のホームページにようこそ!](#)

2、新シリーズ

6月末から始まったマイヤー牧師の新説教シリーズ”聖書人物から、祈りについて学ぶ”は、9月8日”悔い改めによる新しい喜び”で第4回目となりました。これらのシリーズは、スイスJEGのHP/メッセージサイトでもご視聴いただけます。<https://www.jegschweiz.com/%E7%A4%BC%E6%8B%9D%E3%83%A1%E3%83%83%E3%82%BB%E3%83%BC%E3%82%B8-audio-video/>

3、ゲルスタ・ウエンディ元宣教師が渡日

故ゲルスタ・ハンスウエリ元牧師を偲ぶ記念礼拝が、7月21日長年宣教師としてお働きになった札幌の母教会・札幌聖書キリスト教会であり、7月18日ウエンディ夫人が子供達二人と渡日されました。8月6日にアンドレアス君とエリザベトさんが帰国されたあと、ウエンディ夫人は引き続き札幌に滞在し、旧友との交わりやOMFの仕事を手伝っておられます。10月28日に帰られる予定です。どうか、夫人のこれからのお働きのうえに明確な主の導きがありますようにお祈りください。



愛餐会と誕生祝いスナップ

高橋稔元パリ・プロテスタント日本語教会牧師が召天されました。

8月16日の早朝、肝門部胆管癌で闘病中であった、元パリ・プロテスタント日本語教会高橋稔牧師(2010～15)帰国後、東京都杉並区西荻チャペル牧師が召天されました。高橋先生は、スイスのベアテンベルグ神学校で学ばれ、パリ時代、スイスJEGにおいても説教のご奉仕をしていただきました。謙遜で温厚なご性格の先生は優しいメッセージとともに多くの人に愛されてきました。



告別式は、9月5日(木) 御茶ノ水クリスチャンセンター7階のチャペルで開かれ、師を慕う多くの人々が参加されました。みどり夫人とご遺族に主の深い慰めがありますようお祈りします。

長い間 主人のため祈り支えてくださったことを心からの御礼申し上げます。8月 日16日早朝、主のみ腕に抱かれ平安のうちに召されました。生前のみなさまのご愛、主にあるお交わり、数々のご親切に心からの感謝をもってお知らせいたします。 主にあつて、高橋みどり

5、第36回ヨーロッパ・キリスト者の集いが祝福の内に終了



東欧解放30年を記念して、ルーマニア・トランシルバニア州首都クルージュナポカで、フランクフルト日本語福音キリスト教会/トランシルバニア日本語集会の共催で開催された第36回ヨーロッパ・キリスト者の集いには、遠方にもかかわらず202名の参加があり、大きな祝福と熱気に包まれ無事に終了いたしました。36年の長きに渡って集いを導き祝福して下さった神様に感謝!スイスJEGからの29名の参加者も、飛行機の大幅遅延などのトラブルに遭いながらも無事に帰国いたしました。感謝。

なお、今回の集いの講演録音、写真ビデオなどの映像記録は、HPのルーマニア特設サイトで視聴できますのでご利用ください。また、ニュースレターには、集いの証/感想文集が添付されていますのでお読みになつてください。

2020年の第37回キリスト者の集いは、デュッセルドルフ日本語キリスト教会の主催でデュッセルドルフのユースホステルを借り切って、”人を生かすことば”をテーマに7月30日から8月2日まで開催されます。最新情報はキリスト者の集いのオフィシャル・ホームページでご覧いただけます。

ヨーロッパ・キリスト者の集いの代表者会議で、欧州の各教会/集会が、これからの集いについてと繰越し金の処理について討議するよう求められましたので、スイスJEGでも9月8日の13時半より、役員/世話人および有志が集まって検討会がもたれました。

6、世界各地からホットな情報が満載の月報/ニュースレター&メルマガが届いています!

オーニングャー宣教師、クッツ・プスキラ宣教師、フーサー香織・シモン宣教師、工藤篤子メルマガ、井野葉由美メルマガ、吉村美德NL、バルセロナ日本語で聖書を読む会月報、デュッセルドルフ日本語キリスト教会月報、ケルン・ボン日本語キリスト教会月報、ルーマニア川井勝太郎宣教師の週報イザール通信、森ゆり空レタ配達人、”宣教の声”が届いています。お読みになりたい方は、松林までご連絡ください。なお、スイスJEG会員の兄弟は、HPでパスワードを入れて、いつでもお読みできるようにいたしました。